

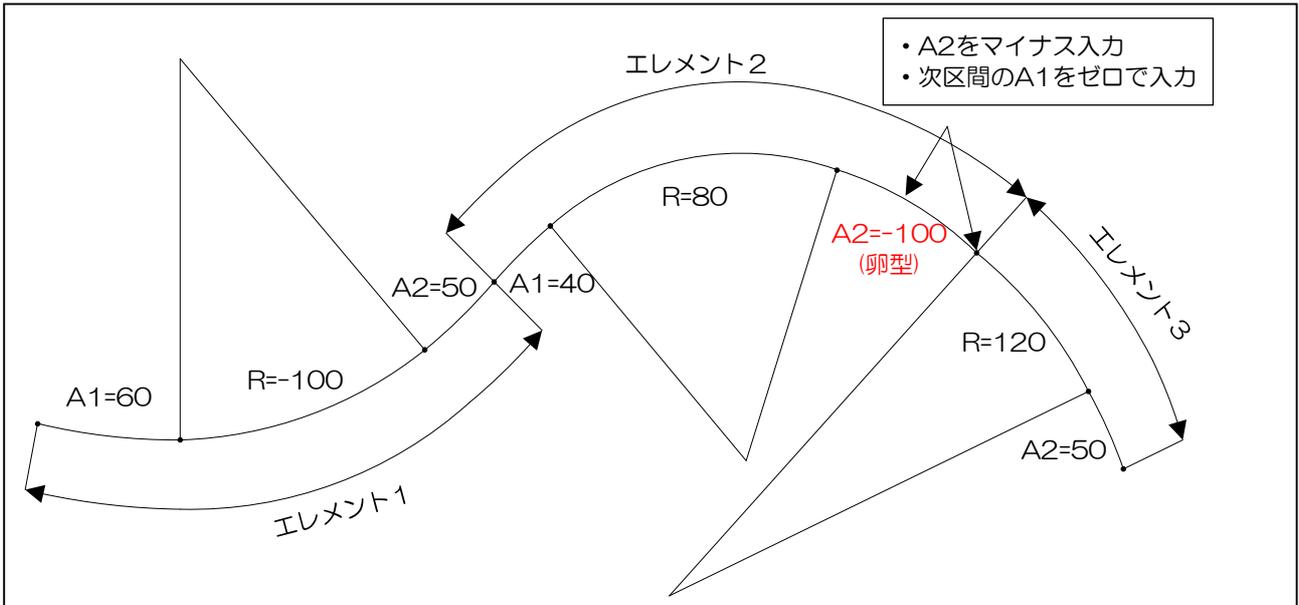
■ 線形関連

Q20: 線形データで卵型の入力を行いたい。

A20: 各入力形式における、卵型の要素入力については以下をご覧ください。

1. エlement固定法

Element固定法での卵型は、卵型の緩和曲線パラメータA2の値にマイナス値を入力し、卵型に続く区間のA1は0を入力する事で計算できます。



Element 区間番号	Element	緩和曲線 パラメータA1	半径 R	緩和曲線 パラメータA2
1	円	60	-100	50
2	円	40	80	-100
3	円	0	120	50

下記の入力画面は、上図の卵型区間(Element 2~3)の入力例です。

Element 2の入力画面

Element要素入力 - Element No.2/3

要素
A1 40.000000 R 80.000000
A2 -100.000000 TL 0.000000

線形長指定
無し 座標間
L= 0.000000

固定モード
FREE 2点 円心 n点
1点 1点&方向 3点

円心反転
無し 有り

直線/円の参照
A1参照 A2参照

A2にマイナス値を入力

Element 3の入力画面

Element要素入力 - Element No.3/3

要素
A1 0.000000 R 120.000000
A2 50.000000 TL 0.000000

線形長指定
無し 座標間
L= 0.000000

固定モード
FREE 2点 円心 n点
1点 1点&方向 3点

円心反転
無し 有り

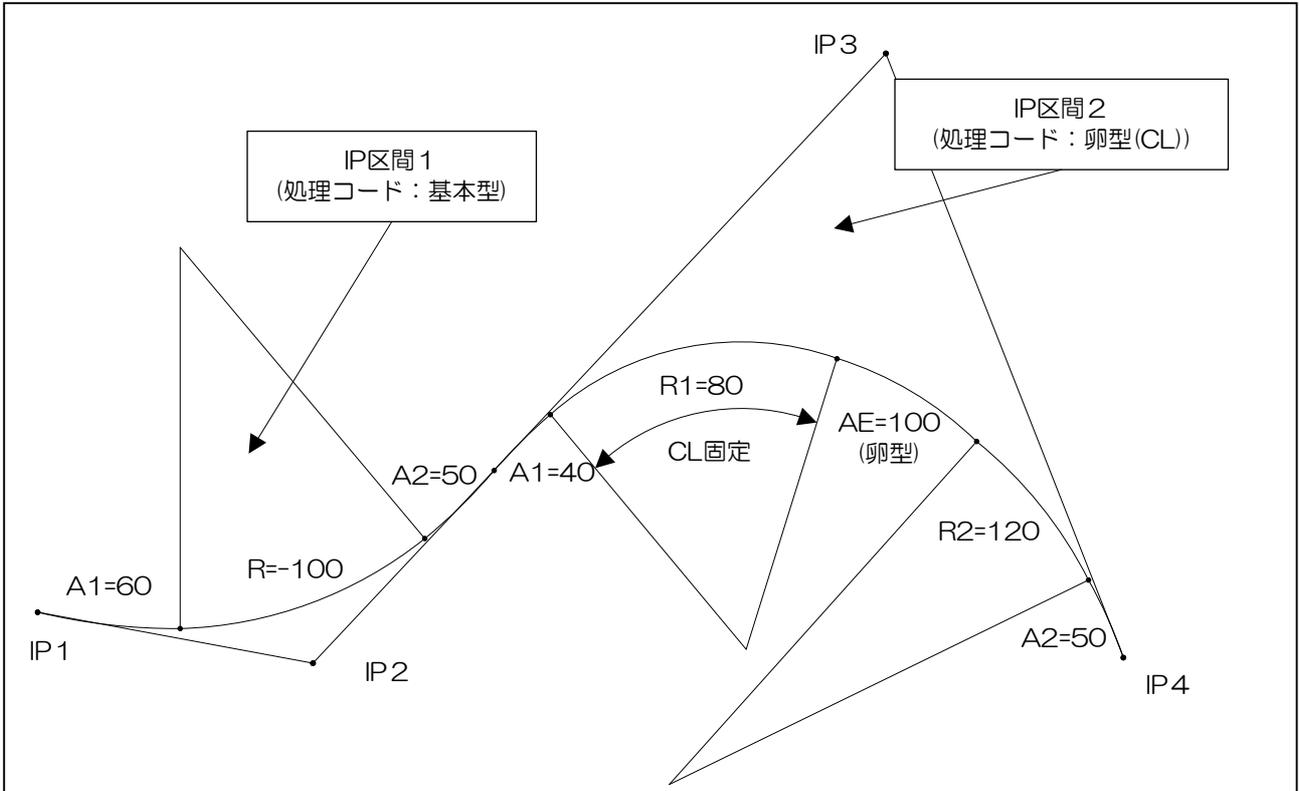
X1, Y1 24.869139 320.233164 S 153-59-47.956

通過点の参照
直線/円の参照
A1参照 A2参照

A1にゼロを入力

2. IP法

IP法での卵型は、処理コードで「卵型(CL)」または「卵型」を選択し、各要素を入力する事で計算できます。



下記の入力画面は、上図のIP区間2の入力例です。「卵型(CL)」を選択しています。

IP区間2の入力画面

要素入力 - IP区間:IP2-IP3-EP

処理コード

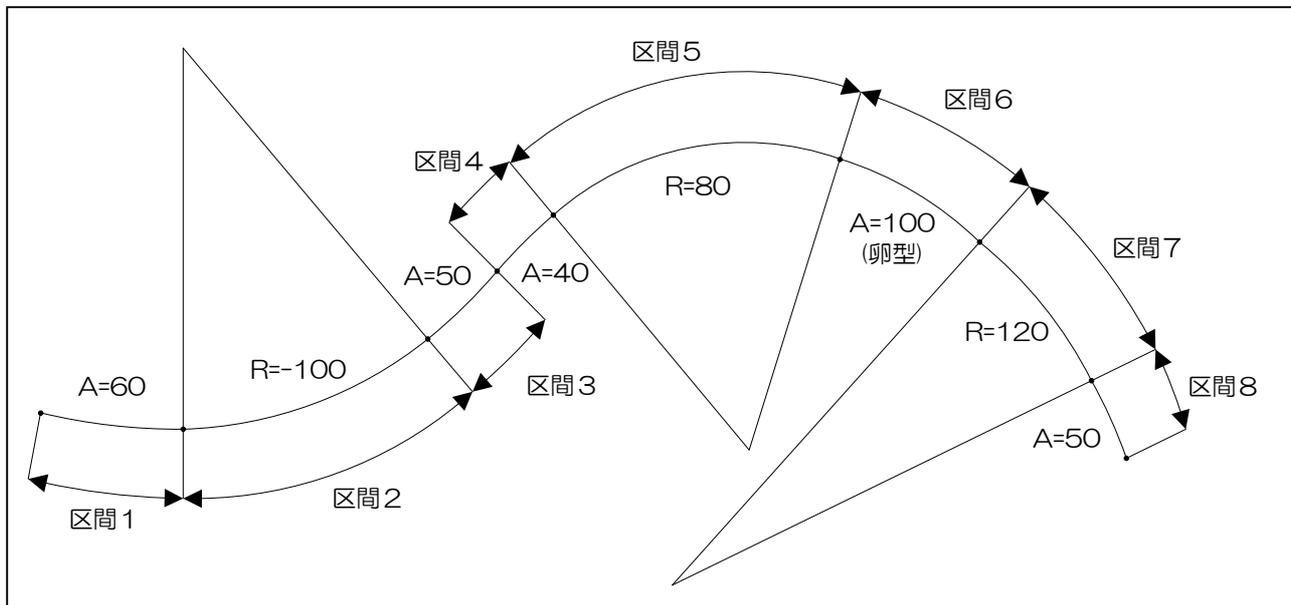
なし
 卵型(CL)
 S型
 凸型
 基本型
 卵型
 反向
 凸型(R)

R方向反転 線形長を入力する項目 [N1]

A1	40.000000	R1	80.000000
AE	100.000000	R2	120.000000
A2	50.000000	CL1	78.423811

3. 片押し法・座標読取法

片押し法・座標読取法での卵型線形は、線形要素(始点半径・緩和曲線パラメータ・終点半径)を入力する事で計算できます。



区間番号	要素	始点半径	緩和曲線パラメータ	終点半径
1	緩和曲線	0	60	-100
2	円	-100	0	-100
3	緩和曲線	-100	60	0
4	緩和曲線	0	40	80
5	円	80	0	80
6	緩和曲線	80	100	120
7	円	120	0	120
8	緩和曲線	120	50	0